

## ◆ ワークショップの開催経緯

・本公園のワークショップは下図のとおり実施しました。

市報平成 20 年 6 月 15 日号及び近隣住民へのヒア配布により 20 名を募集。(参加 20 名)

第1回  
平成 20 年 8 月 9 日

現況を確認しよう

・周辺も含めて現場の状況を確認しました。

第2回  
平成 20 年 9 月 10 日

アイデアを出し合おう

・この公園でしたい事、必要な事などを自由に出し合いました。

第3回  
平成 20 年 10 月 29 日

ゾーニングを決めよう

・現場の状況を踏まえ、導入する機能とその配置などを検討しました。

第4回  
平成 20 年 12 月 17 日

公園のイメージを考えよう

・叩き台案を基に、公園の景観や植栽、園路・広場のイメージ等を話し合いました。

第5回  
平成 21 年 2 月 4 日

プランを確認しよう

・プランをとりまとめて確認しました。今後の管理運営についても話し合いました。



平成 21 年 3 月  
武蔵野市 都市整備部 緑化環境センター

## 中央通りさくら並木公園 基本プラン

### ◆ 基本コンセプト

# 武蔵野のにお

～時の流れが積み重なる公園～

- さまざまな思い出に会い、思い出が作られる公園
- 中央通り歩道との一体化とサクラ並木との連携
- 今ある樹木と庭石を活かす空間づくり

### ◆ 基本方針

#### 《基本レイアウト》

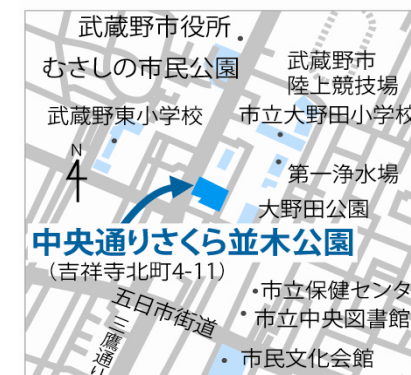
- ・東西に面する通りに開く見通しのよい基本構成とします。
- ・原っぱの広がり大切に、園路など施設は最小限とします。
- ・南北の居住空間に接する植栽はプライバシー確保と騒音防止等に留意します。
- ・植栽地や草広場の部分は、土壌改良と、風景づくりの視点から、ごく自然な起伏を加えます。

#### 《既存樹等の扱い》

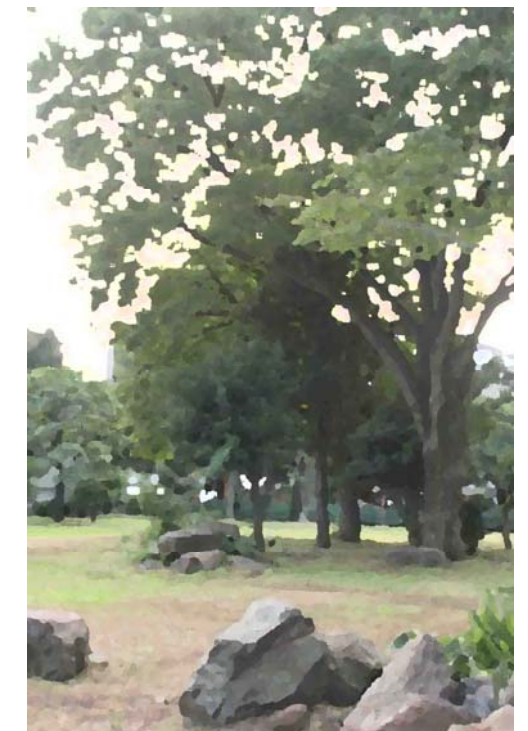
- ・既存の植生を保全し、大木を中心とした明るい林に整えます。
- ・生き生きとした林を維持するため、一部樹木の更新を図ります。
- ・庭石は基本的に現位置のまま公園づくりに活かします。

#### 《基本動線》

- ・車椅子利用などユニバーサルな利用のできる園路をつくります。
- ・自転車や管理用車両が通ることのできる園路もつくります。
- ・園路の形は、通りながら景観の変化を楽しめるものとします。



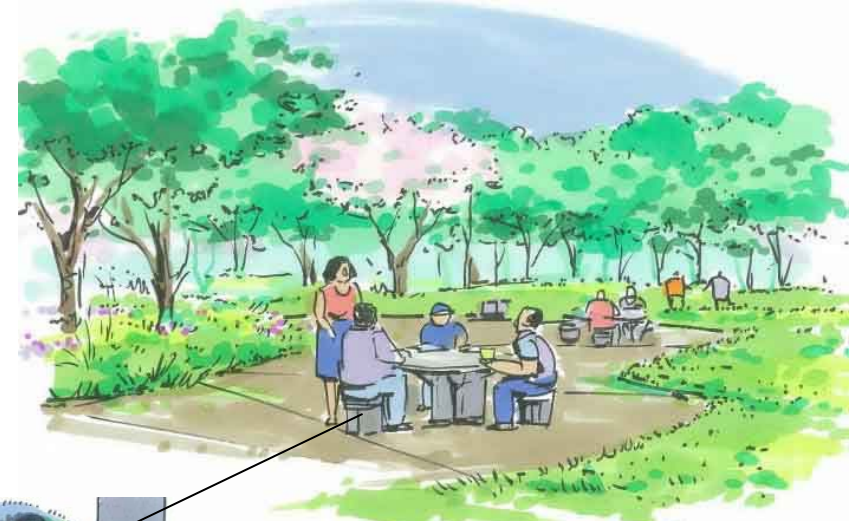
名称： 中央通りさくら並木公園  
都市計画公園第 2・2・26 号  
都市計画決定(平成 20 年 8 月 12 日)  
事業認可(平成 23 年 3 月 31 日まで)  
公園面積： 0.29ha (2,889 m<sup>2</sup>)  
主要施設： 防火水槽 100 t  
災害用トイレ 4 基  
園路・広場・植栽等



# 中央通りさくら並木 公園基本プラン



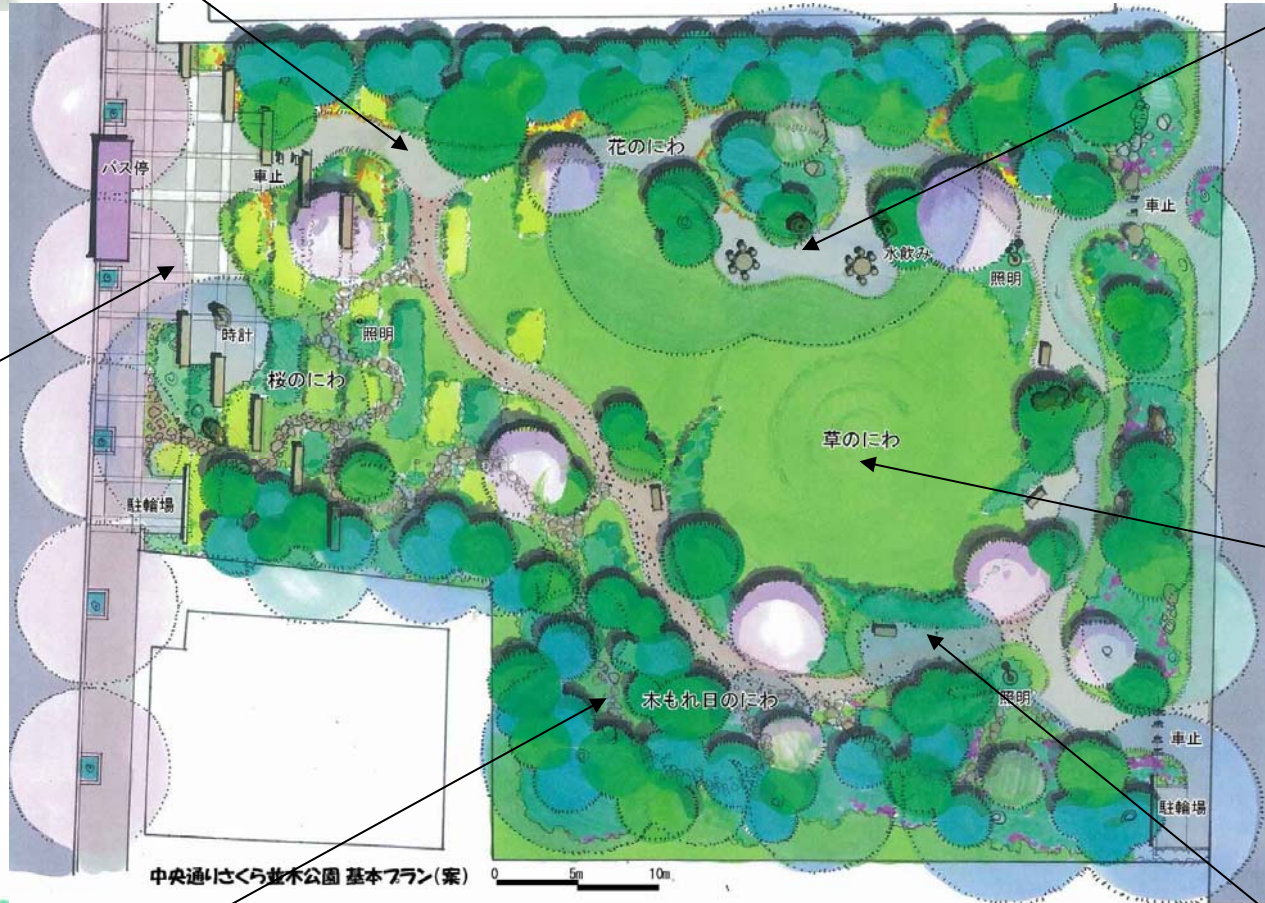
花のにわ～バリアフリー園路



巨木の木陰～テーブルベンチ



桜のにわ～ウォールベンチ



草のにわ～緑に囲まれた空



木もれ日のにわ～散策路と石ベンチ



木もれ日のにわ～縁台でくつろぐ